業務棚卸表（事後評価表）

A表

| 年度 | 平成17年度 |
|---|---|

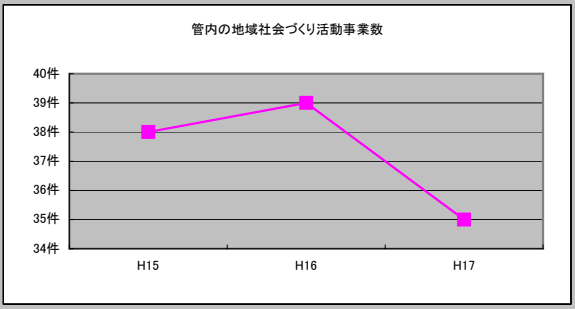
基本目的　３　　人権が尊重され、市民が主体となって取り組む協働社会になる
基本目的　８　　市民が自己を高め、生きがいをもって暮らせる
基本目的　９　　行政機能が高くなる
行動目標３－２　　市民主体でまちづくりが行われる
行動目標８－２　　市民が生涯を通じて学習、スポーツ活動に取り組める　（所属名　河原田地区市民センター　）
行動目標９－２　　公正で効率的な行政運営を行う

| 任務目的 | 地域における市行政の窓口として、市民の利便性を高めるとともに、市民による地域活動を促進する。 | 達成度 | ☆☆☆ |
|---|---|---|---|

## 任務目的の成果・活動指標の推移

### 管内の地域社会づくり活動事業数

| | |
|---|---|
| H14実績 | － |
| H15実績 | 38件 |
| H16実績 | 39件 |
| H17実績 | 35件 |
| H17目標 | 39件 |
| H18見込 | 38件 |




### 窓口対応の満足度

| | |
|---|---|
| H14実績 | － |
| H15実績 | 100.0% |
| H16実績 | 100.0% |
| H17実績 | 100.0% |
| H17目標 | 100.0% |
| H18見込 | 100.0% |

### 講座開催数

| | |
|---|---|
| H14実績 | － |
| H15実績 | 1014回 |
| H16実績 | 841回 |
| H17実績 | 1030回 |
| H17目標 | 870回 |
| H18見込 | 880回 |

### 指標の説明

地区市民センターの主要な業務である、地域社会づくり、窓口・相談、公民館における生涯学習講座の開催について、わかりやすい、代表的な指標として、管内の地域社会づくり活動事業数、窓口対応の満足度、講座開催数を掲げた。

## ○　任務目的に対する評価

### これまでの取組と成果、手段の妥当性

**平成17年度実績**

○平成16年1月に発足したまちづくり推進協議会の熟成とともに、地区内の各種団体によるまちづくり事業が活発に展開された結果、17年度には地域活動団体が新たに2団体立ち上がるに至った。安全安心なまちづくりに取り組む団体と健康づくりに取り組む団体である。自らの住む地域に何が求められているのかを的確に判断し、着実に取り組んでいこうとする姿勢が生まれてきた証と考える。

**平成18年度見通し**

○安全安心のまちづくりの取り組みとしては、従前の防犯活動に加え、①子どもの安全見守り活動　②高齢者に対する詐欺等の不法行為の防止などにも活動の範囲を広げていくよう規約の改正を行い、組織体制の見直しを図った。また、地区内の竹やぶ対策として、竹炭づくりなどを行うボランティアを募集し、新たな集団を組織化する。

### これからの課題、施策等展開の方向性

○災害に強いまちづくりを進めていくために、各町の自主防災組織の見直しを図るとともに、民生委員会・児童委員会と連携を図りながら、防災と福祉が一体となった活動を目指していく。
○子ども、女性を主眼に置いたセンター事業や地域貢献団体との共催事業を実施し、まちづくりに参画していく活動家を掘り起こしていく。